

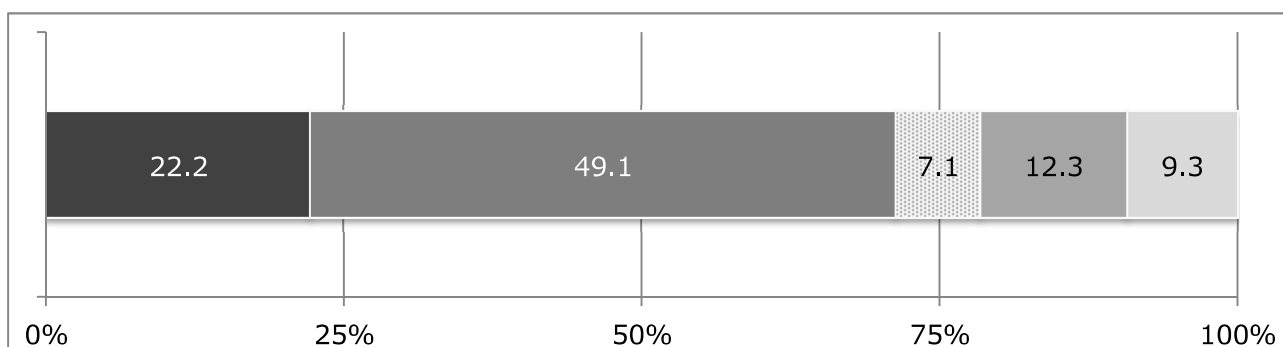
第2章 主要な設問に関する調査結果

※第2章(設問1~3、43)の単純集計による過去(H28・29)の調査結果比較は、P105、P112にも掲載

1 生活満足度

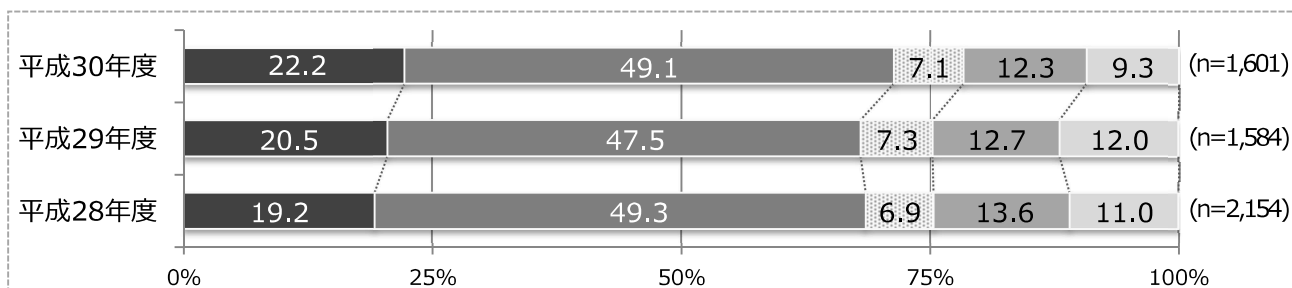
設問1 現在の生活に満足していますか。 n=1,601

■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ▨ どちらともいえない ■ どちらかといえば満足していない ■ 満足していない



生活満足度については、「満足している」(22.2%)、「どちらかといえば満足している」(49.1%)と回答した割合の合計が71.3%となった。一方で「満足していない」(9.3%)、「どちらかといえば満足していない」(12.3%)と回答した割合の合計は21.6%となった。

平成28年度、平成29年度調査結果との比較



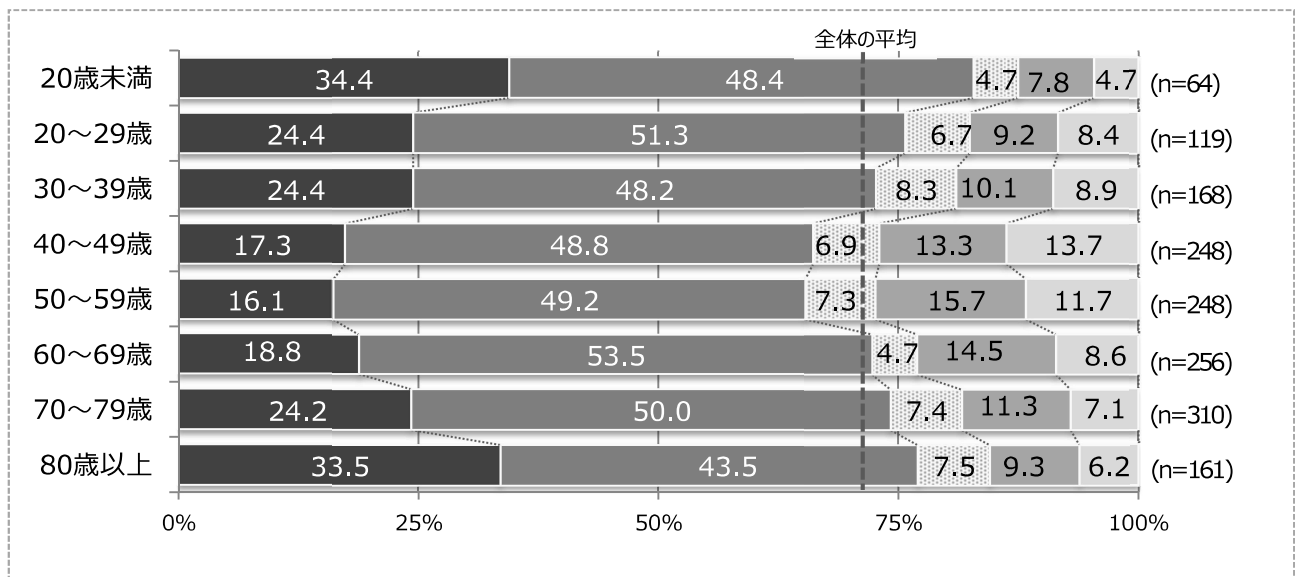
過去の調査結果と比較すると、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計(71.3%)は、平成28年度(68.5%)、平成29年度(68.0%)より増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,570



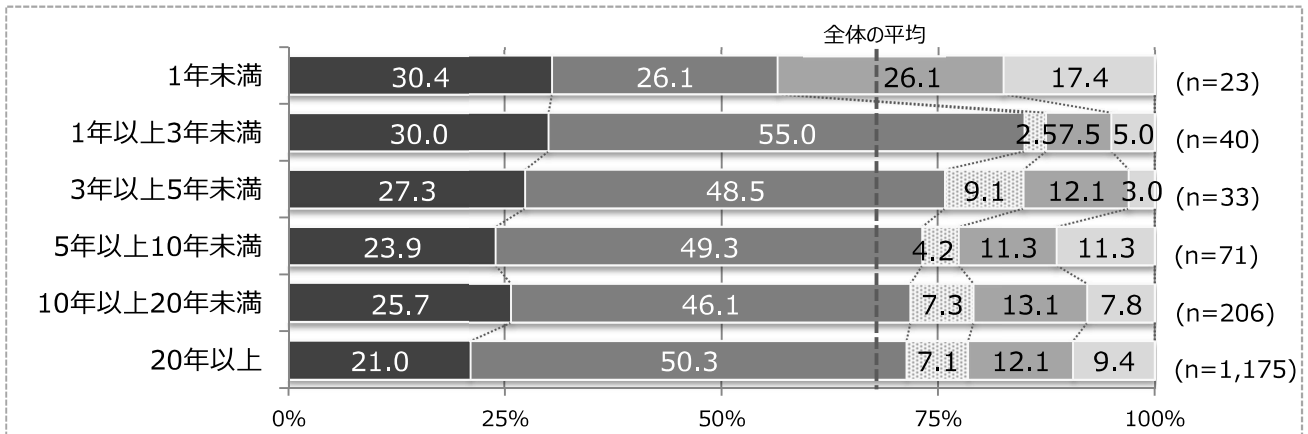
男女別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(72.3%)が「男性」(70.5%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,574



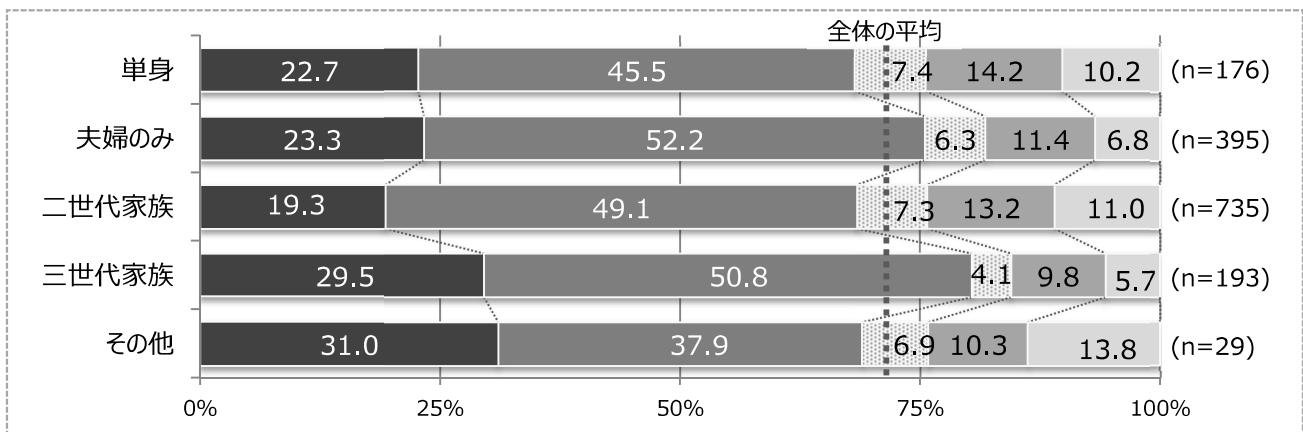
年齢階層別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「20歳未満」(82.8%)が平均を大きく上回り、「80歳以上」(77.0%)、「20～29歳」(75.7%)、「70歳～79歳」(74.2%)、「30～39歳」(72.6%)、「60～69歳」(72.3%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「50～59歳」(65.3%)、「40～49歳」(66.1%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,548



居住年数別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「1年以上3年未満」(85.0%)が平均を大きく上回り、「3年以上5年未満」(75.8%)、「5年以上10年未満」(73.2%)、「10年以上20年未満」(71.8%)でも平均を上回る、または近似した値となった。一方で「1年未満」(56.5%)が平均を大きく下回った。さらに、「20年以上」(71.3%)では平均と同じ値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,528



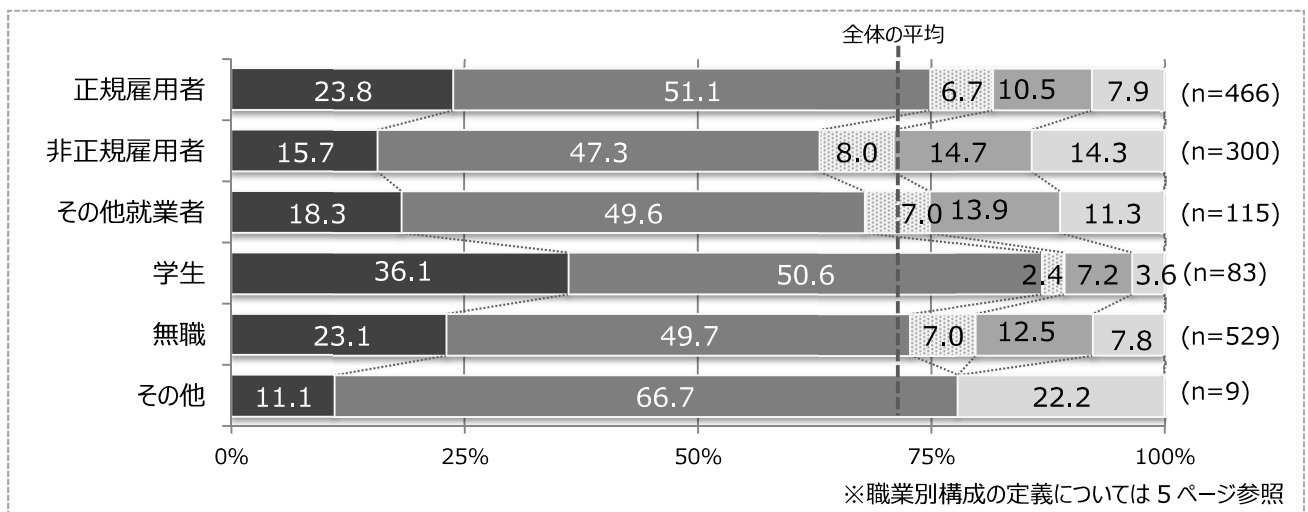
同居家族別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「三世世代家族」(80.3%)、「夫婦のみ」(75.5%)が平均を上回った。一方で「単身」(68.2%)、「二世世代家族」(68.4%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



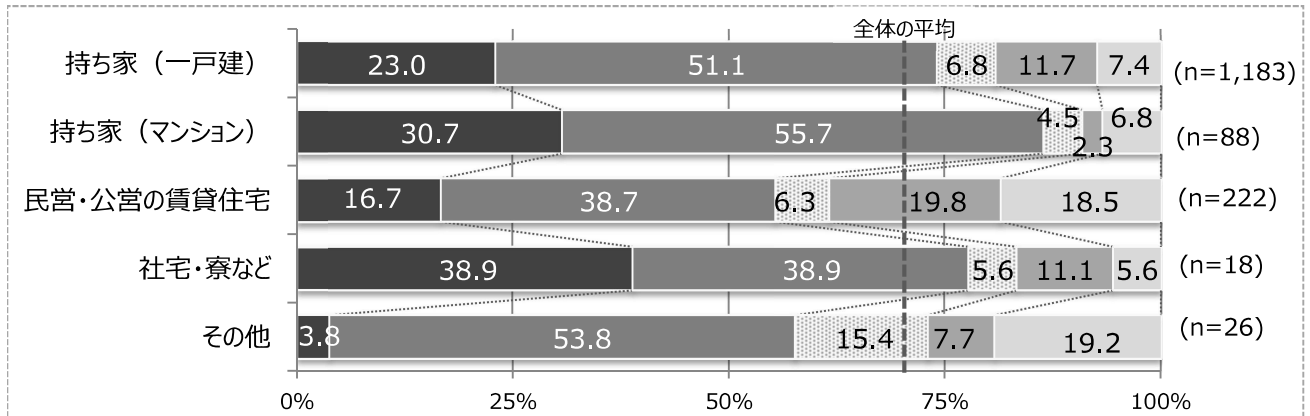
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「乳幼児」のいる世帯(76.7%)、「小学生」のいる世帯(73.2%)、「高齢者」のいる世帯(71.5%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「中学生」のいる世帯(69.6%)では平均を下回った。

職業別構成とのクロス集計 n=1,502



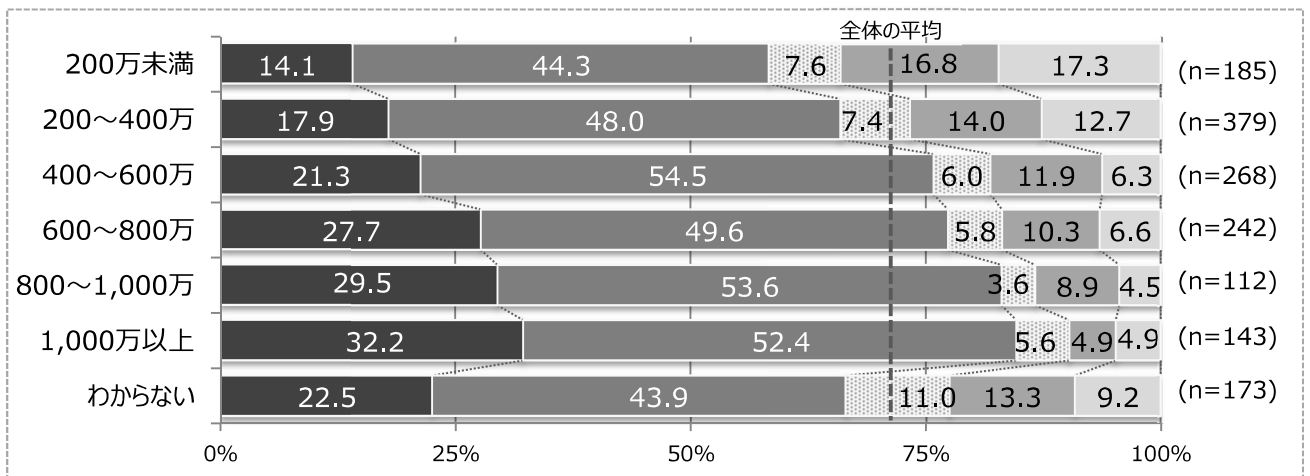
職業別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「学生」(86.7%)が平均を大きく上回り、「正規雇用者」(74.9%)、「無職」(72.8%)でも平均を上回った。一方で「非正規雇用者」(63.0%)、「その他就業者」(67.9%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,537



住宅別(「その他」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「持ち家(マンション)」(86.4%)が平均を大きく上回り、「社宅・寮など」(77.8%)、「持ち家(一戸建て)」(74.1%)でも平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(55.4%)では平均を大きく下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,502

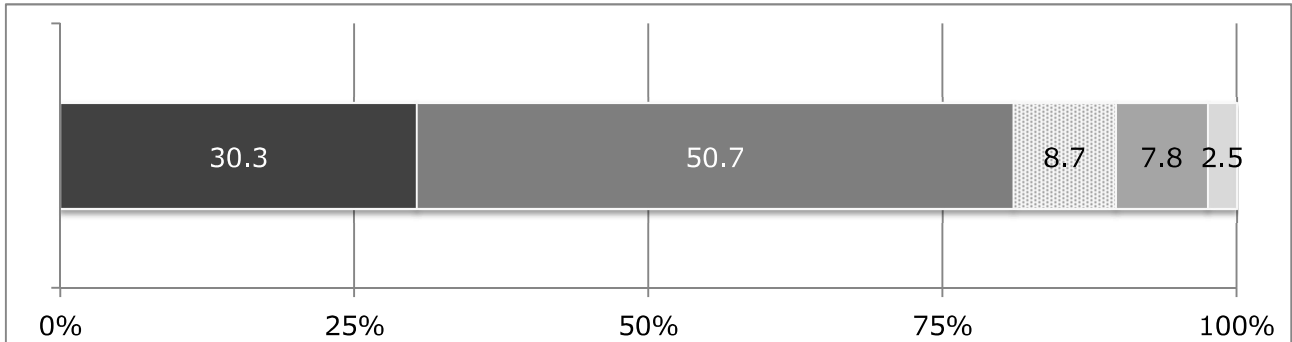


世帯収入別(「わからない」を除く)に、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した割合の合計を全体の平均(71.3%)と比較すると、「1,000 万以上」(84.6%)、「800 万以上～1,000 万未満」(83.1%)が平均を大きく上回り、「600 万以上～800 万未満」(77.3%)、「400 万以上～600 万未満」(75.8%)でも平均を上回った。一方で「200 万未満」(58.4%)では平均を大きく下回り、「200 万以上～400 万未満」(65.9%)でも平均を下回った。

2 幸福感

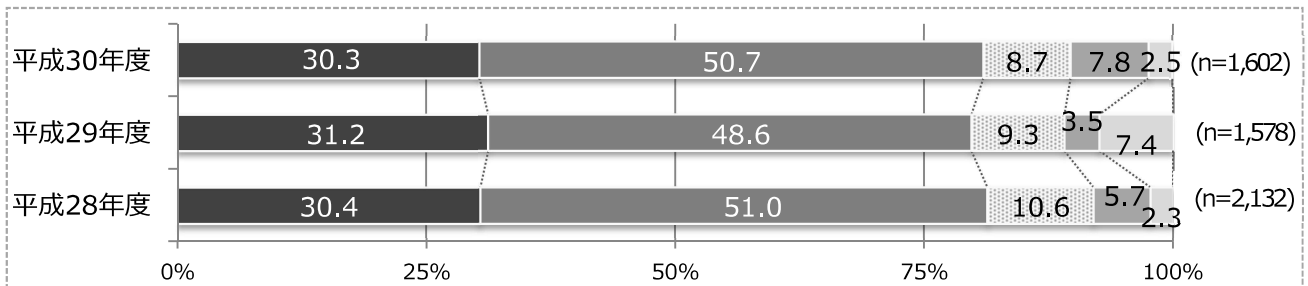
設問 2 現在、あなたは幸せだと感じますか。 n=1,602

■ 幸せだと感じる ■ どちらかといえば幸せだと感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば幸せでないと感じる ■ 不幸せだと感じる



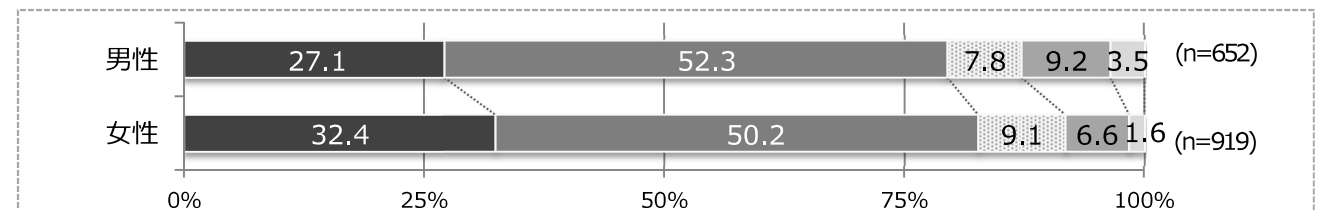
幸福感については、「幸せだと感じる」(30.3%)、「どちらかといえば幸せだと感じる」(50.7%)と回答した割合の合計が 81.0%となった。一方で「不幸せだと感じる」(2.5%)、「どちらかといえば幸せでないと感じる」(7.8%)と回答した割合の合計は 10.3%となった。

平成 28,29 年度調査結果との比較



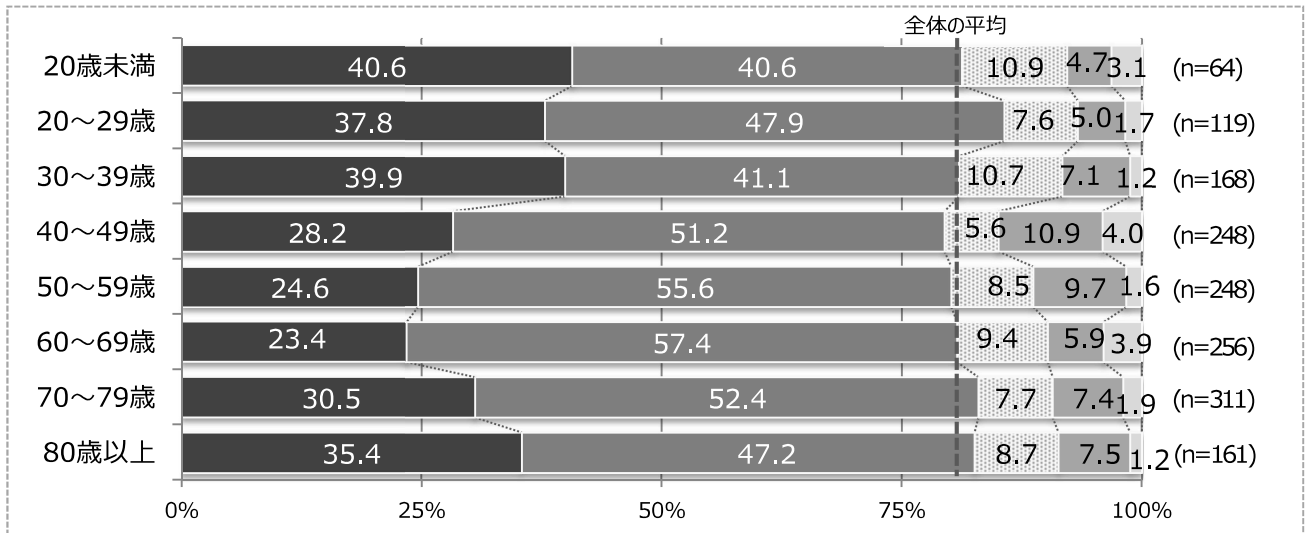
過去の調査結果と比較すると、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計(81.0%)は、平成 28 年度(81.4%)より減少したが、平成 29 年度(79.8%)より増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,571



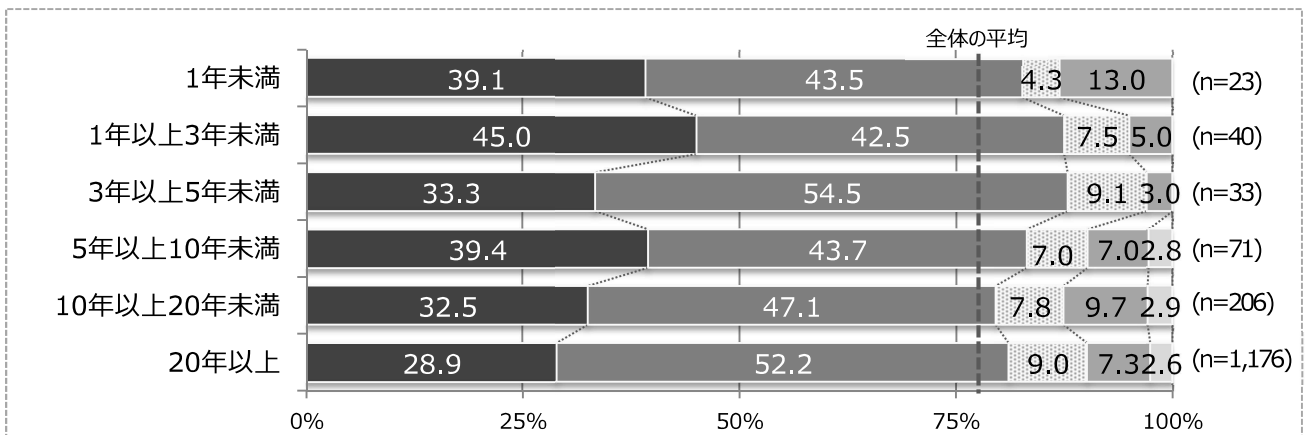
男女別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(82.6%)が「男性」(79.4%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,575



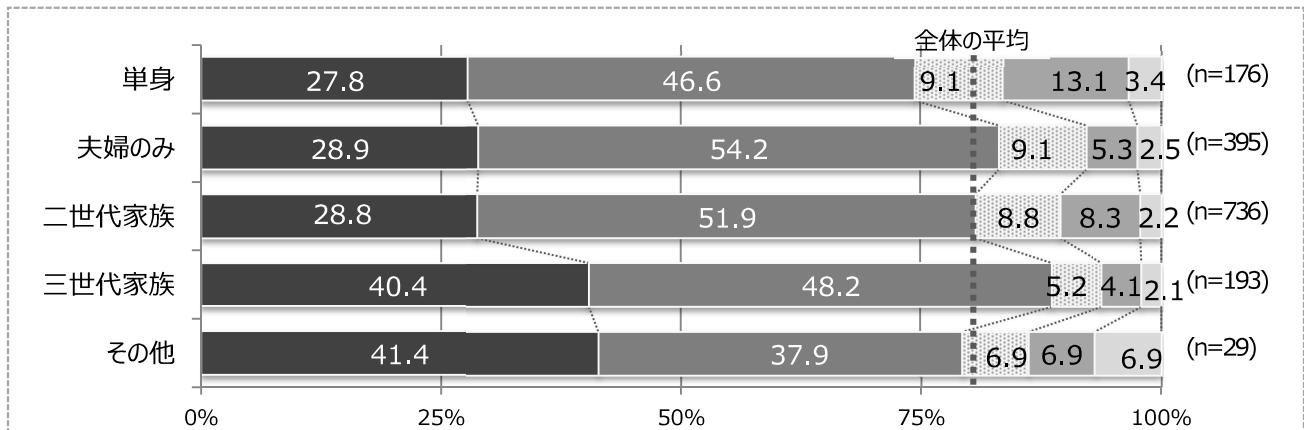
年齢階層別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.0%)と比較すると、「20～29歳」(85.7%)、「70～79歳」(82.9%)、「80歳以上」(82.6%)、「20歳未満」(81.2%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「40～49歳」(79.4%)、「50～59歳」(80.2%)、「60～69歳」(80.8%)では平均を下回る、または近似した値となった。さらに、「30～39歳」(81.0%)では平均と同じ値になった。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,549



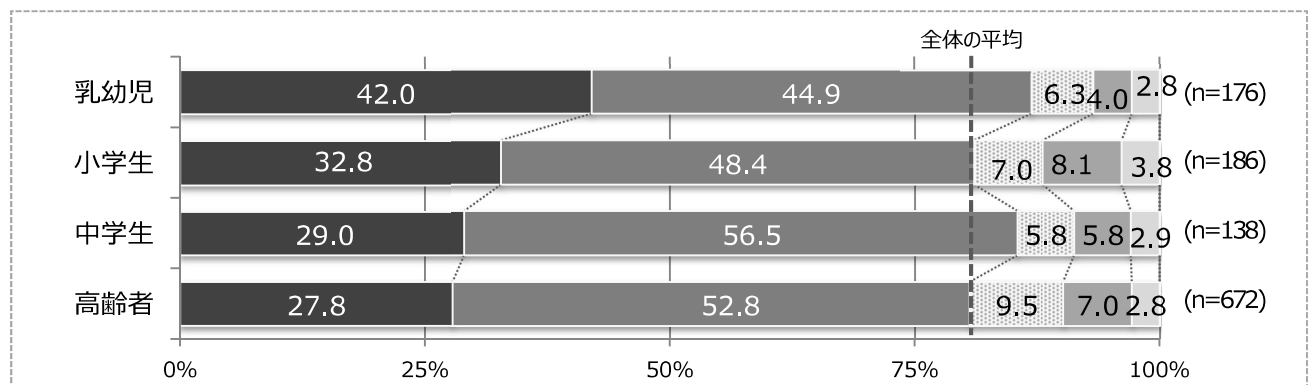
居住年数別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.0%)と比較すると、「3年以上5年未満」(87.8%)、「1年以上3年未満」(87.5%)、「5年以上10年未満」(83.1%)、「1年未満」(82.6%)、「20年以上」(81.1%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「10年以上20年未満」(79.6%)では平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,529



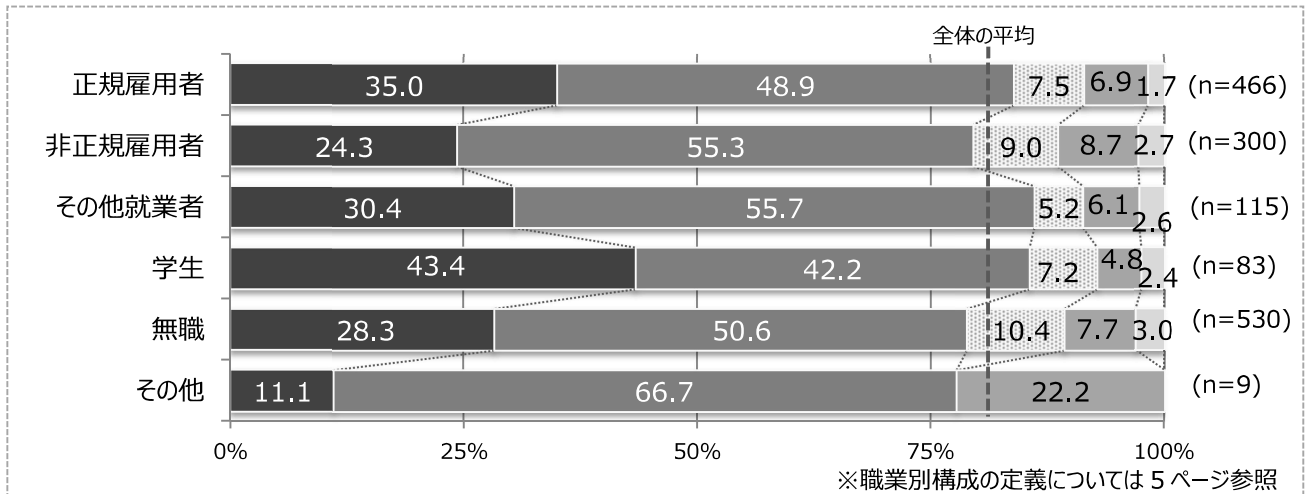
同居家族別（「その他」を除く）に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（81.0％）と比較すると、「三世世代家族」（88.6％）、「夫婦のみ」（83.1％）が平均を上回った。一方で「単身」（74.4％）、「二世世代家族」（80.7％）では平均を下回る、または近似した値となった。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



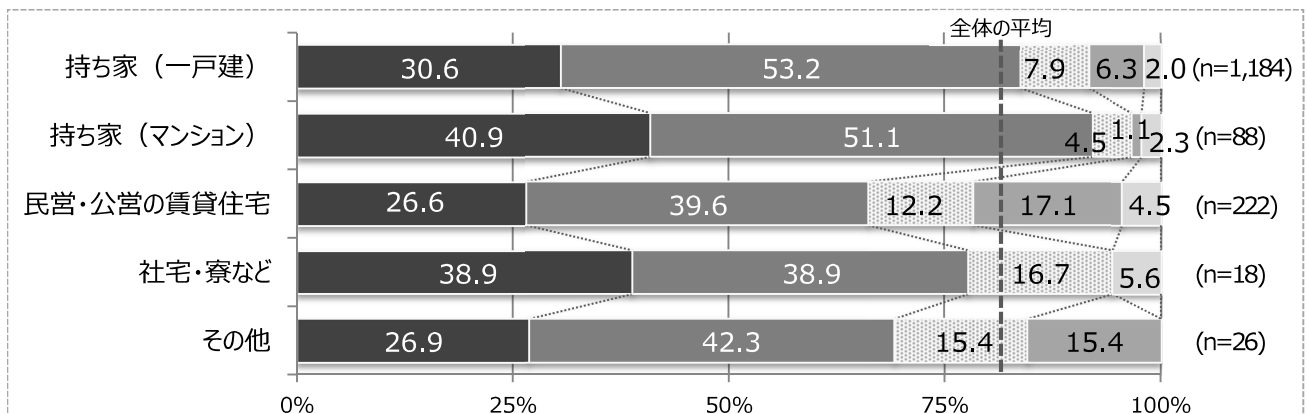
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（81.0％）と比較すると、「乳幼児」のいる世帯（86.9％）、「中学生」のいる世帯（85.5％）が平均を上回った。また、「小学生」のいる世帯（81.2％）、「高齢者」のいる世帯（80.6％）では平均と近似した値となった。

職業別構成とのクロス集計 n=1,503



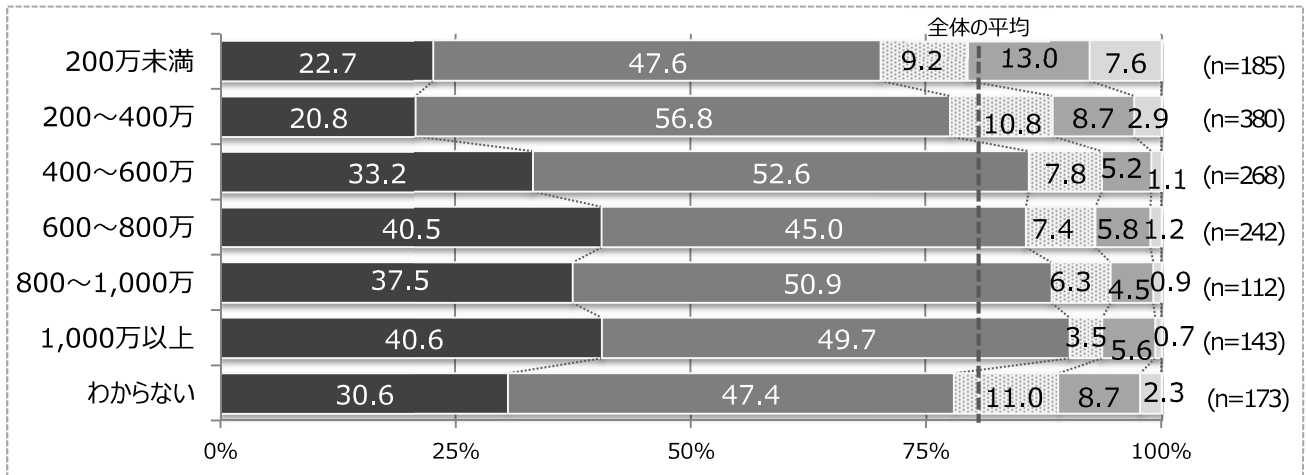
職業別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.0%)と比較すると、「その他就業者」(86.1%)、「学生」(85.6%)、「正規雇用者」(83.9%)が平均を上回った。一方で「無職」(78.9%)、「非正規雇用者」(79.6%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,538



住宅別(「その他」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.0%)と比較すると、「持ち家(マンション)」(92.0%)が平均を大きく上回り、「持ち家(一戸建て)」(83.8%)でも平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(66.2%)では平均を大きく下回り、「社宅・寮など」(77.8%)でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,503

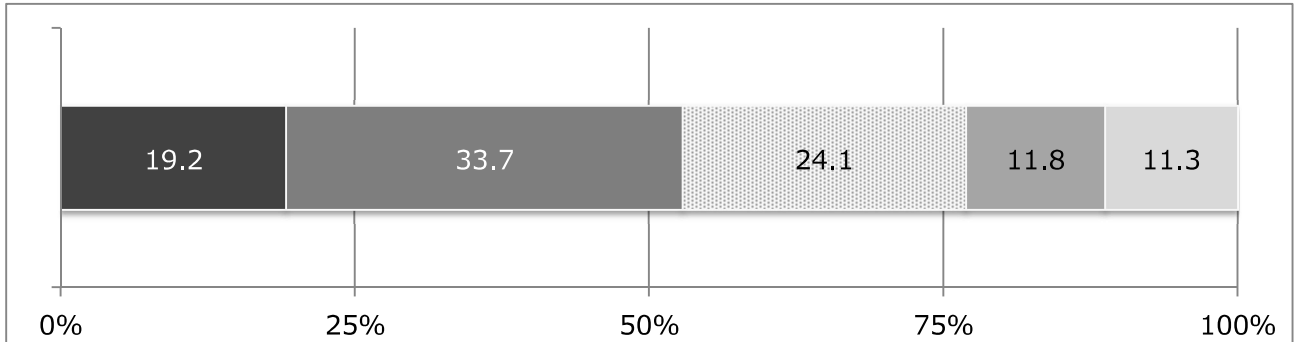


世帯収入別(「わからない」を除く)に、「幸せだと感じる」、「どちらかといえば幸せだと感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(81.0%)と比較すると、「1,000万以上」(90.3%)、「800万以上~1,000万未満」(88.4%)、「400万以上~600万未満」(85.8%)、「600万以上~800万未満」(85.5%)が平均を上回った。一方で「200万未満」(70.3%)では平均を大きく下回り、「200万以上~400万未満」(77.6%)でも平均を下回った。

3 岐阜市民としての誇り

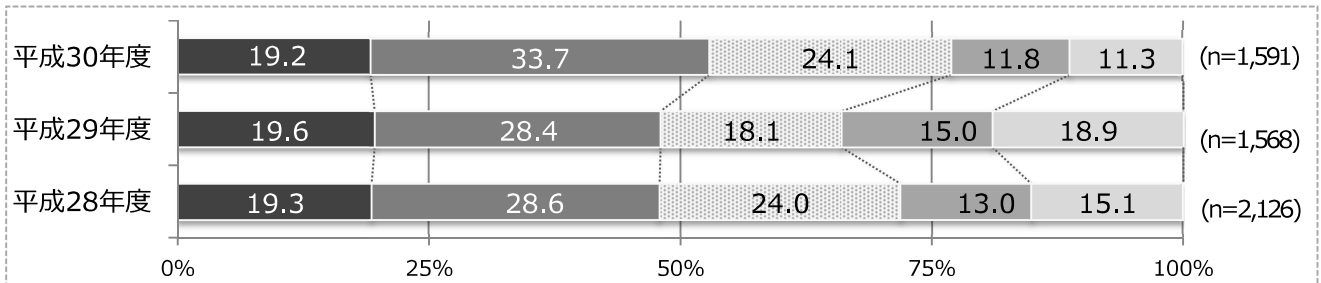
設問 3 岐阜市民であることに誇りを感じますか。 n=1,591

■ 感じる ■ どちらかといえば感じる ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば感じない ■ 感じない



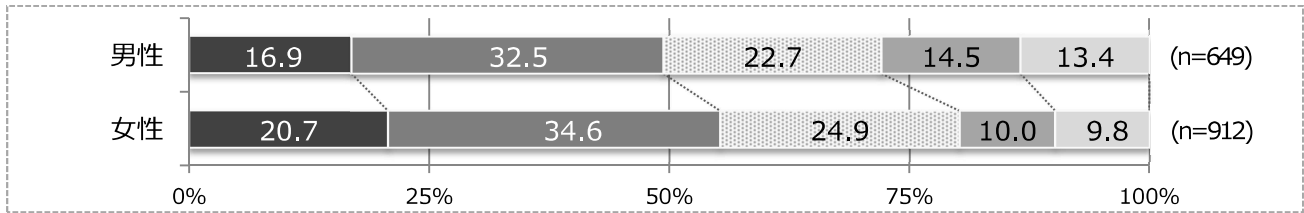
岐阜市民としての誇りについては、「感じる」(19.2%)、「どちらかといえば感じる」(33.7%)と回答した割合の合計が 52.9%となった。一方で「感じない」(11.3%)、「どちらかといえば感じない」(11.8%)と回答した割合の合計は 23.1%となった。

平成 28 年度、平成 29 年度調査結果との比較



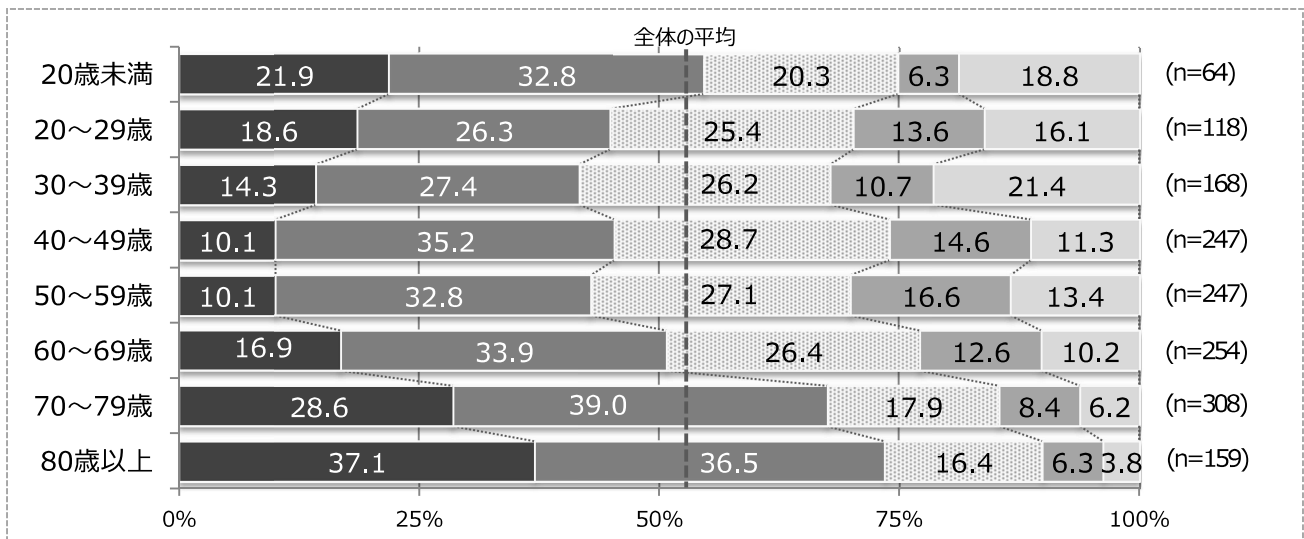
過去の調査結果と比較すると、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計 (52.9%) は、平成 28 年度 (47.9%)、平成 29 年度 (48.0%) より増加した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,561



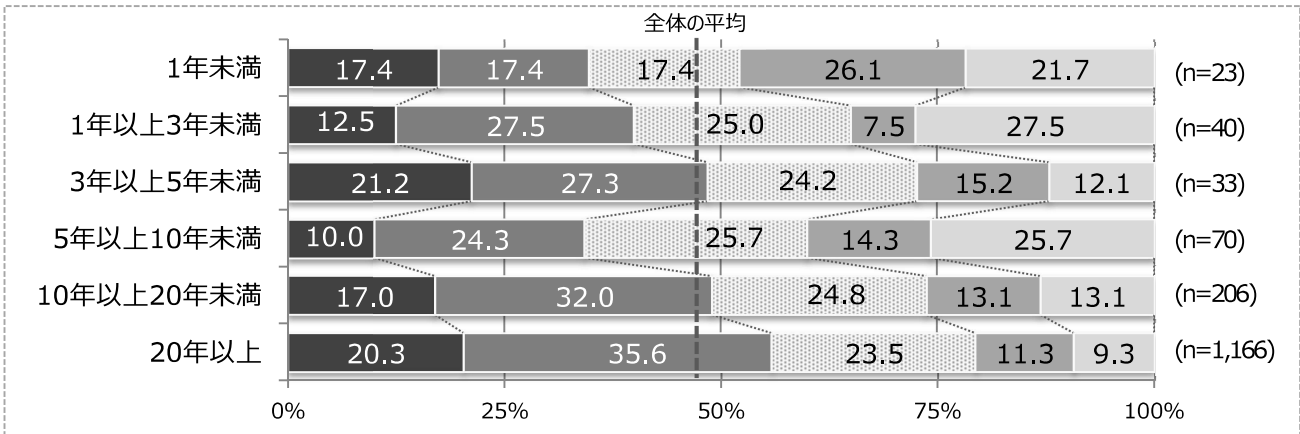
男女別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(55.3%)が「男性」(49.4%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,565



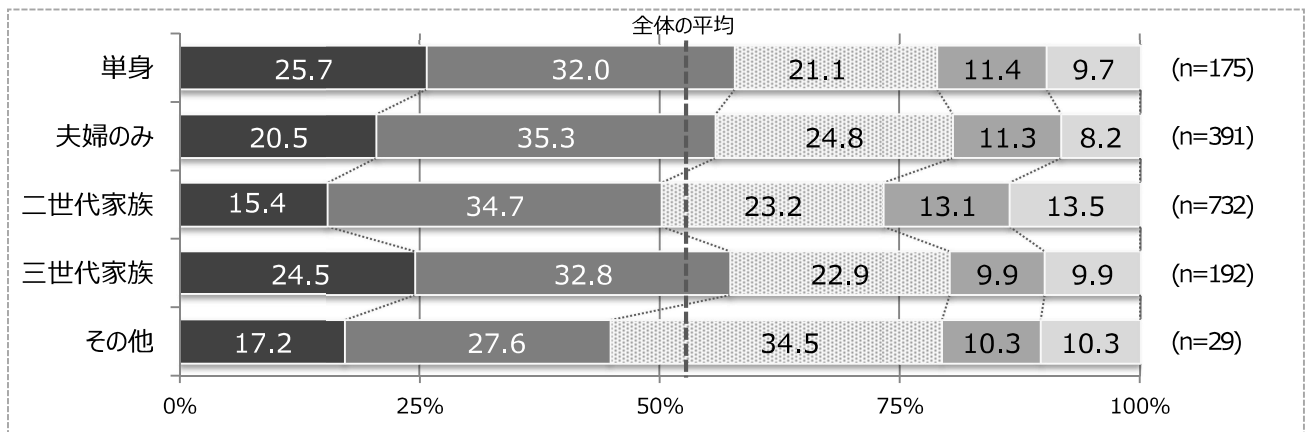
年齢階層別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(52.9%)と比較すると、「80歳以上」(73.6%)、「70～79歳」(67.6%)が平均を大きく上回り、「20歳未満」(54.7%)でも平均を上回った。一方で「30～39歳」(41.7%)、「50～59歳」(42.9%)では平均を大きく下回り、「20～29歳」(44.9%)、「40～49歳」(45.3%)、「60～69歳」(50.8%)でも平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,538



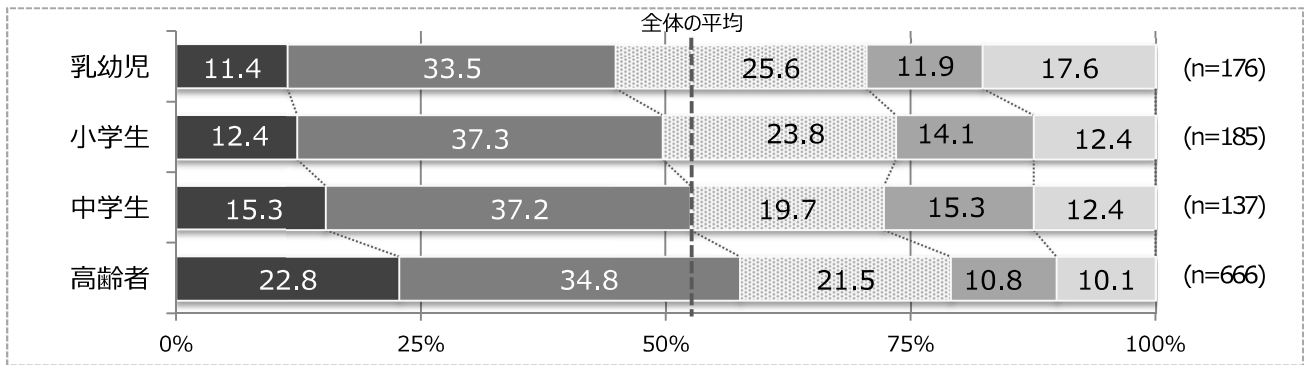
居住年数別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(52.9%)と比較すると、「20年以上」(55.9%)が平均を上回った。一方で「5年以上10年未満」(34.3%)、「1年未満」(34.8%)、「1年以上3年未満」(40.0%)では平均を大きく下回り、「3年以上5年未満」(48.5%)、「10年以上20年未満」(49.0%)でも平均を下回る、または近似した値となった。

家族構成とのクロス集計 n=1,519



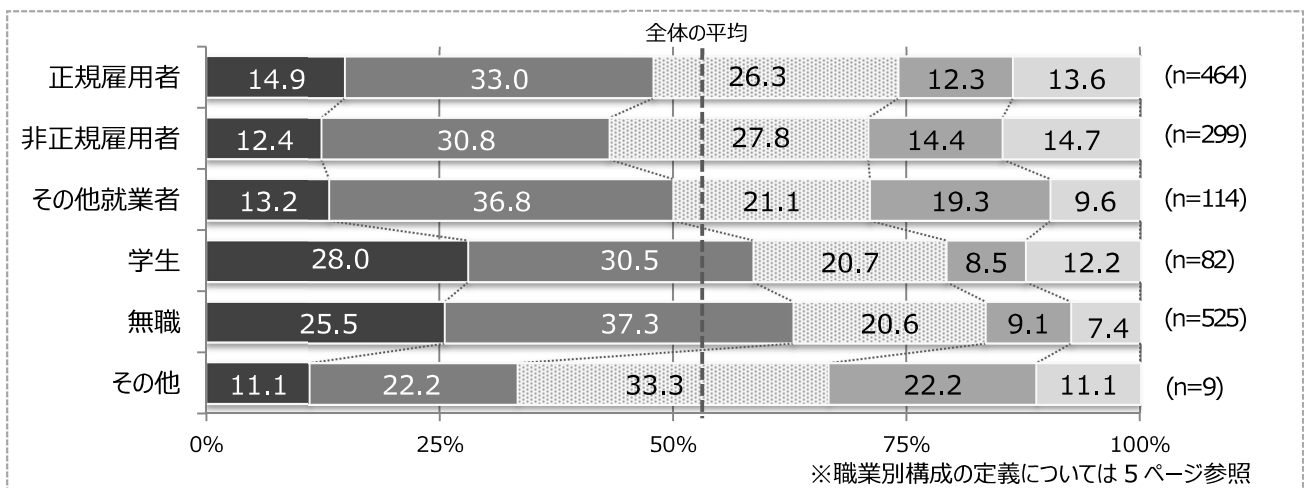
同居家族別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(52.9%)と比較すると、「単身」(57.7%)、「三世世代家族」(57.3%)、「夫婦のみ」(55.8%)が平均を上回った。一方で「二世世代家族」(50.1%)では平均を下回った。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



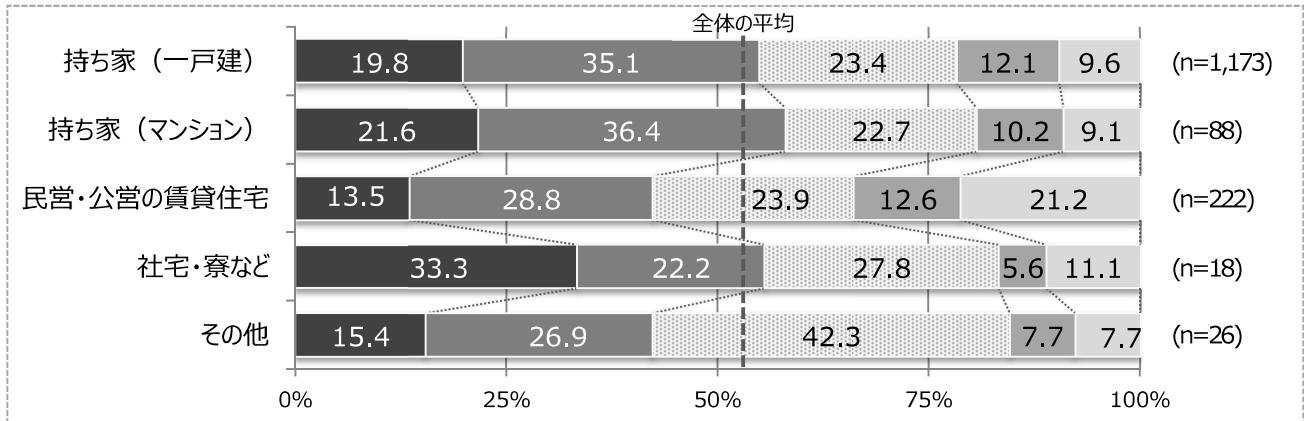
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(52.9%)と比較すると、「高齢者」のいる世帯(57.6%)が平均を上回った。一方で「乳幼児」のいる世帯(44.9%)、「小学生」のいる世帯(49.7%)、「中学生」のいる世帯(52.5%)では平均を下回る、または近似した値となった。

職業別構成とのクロス集計 n=1,493



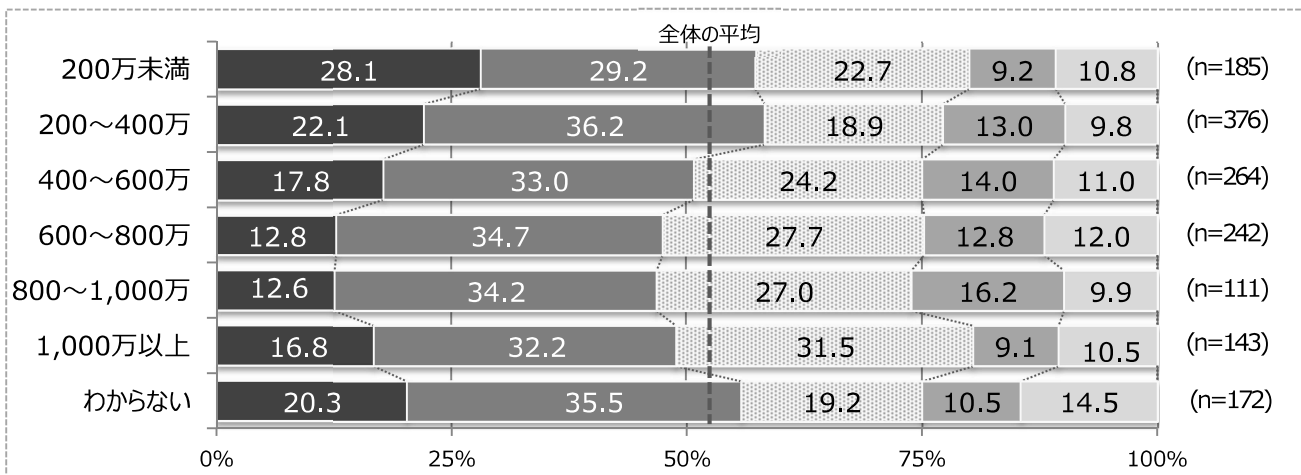
職業別(「その他」を除く)に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均(52.9%)と比較すると、「無職」(62.8%)、「学生」(58.5%)が平均を上回った。一方で「非正規雇用者」(43.2%)、「正規雇用者」(47.9%)、「その他就業者」(50.0%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,527



住宅別（「その他」を除く）に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（52.9%）と比較すると、「持ち家（マンション）」（58.0%）、「社宅・寮など」（55.5%）、「持ち家（一戸建）」（54.9%）が平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」（42.3%）では平均を大きく下回った。

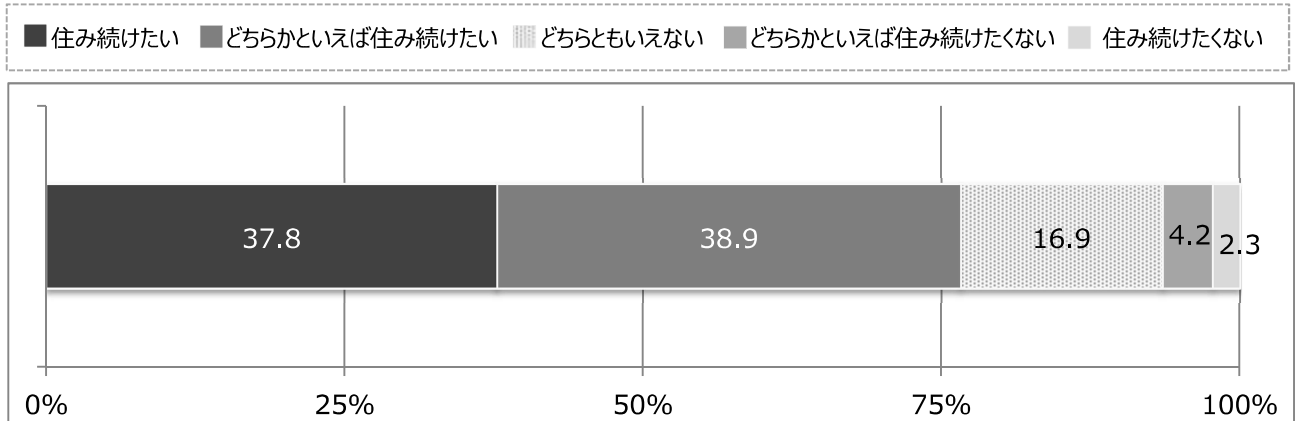
世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,493



世帯収入別（「わからない」を除く）に、「感じる」、「どちらかといえば感じる」と回答した割合の合計を全体の平均（52.9%）と比較すると、「200万円以上～400万円未満」（58.3%）、「200万円未満」（57.3%）が平均を上回った。一方で「800万円以上～1,000万円未満」（46.8%）、「600万円以上～800万円未満」（47.5%）、「1,000万円以上」（49.0%）、「400万円以上～600万円未満」（50.8%）では平均を下回った。

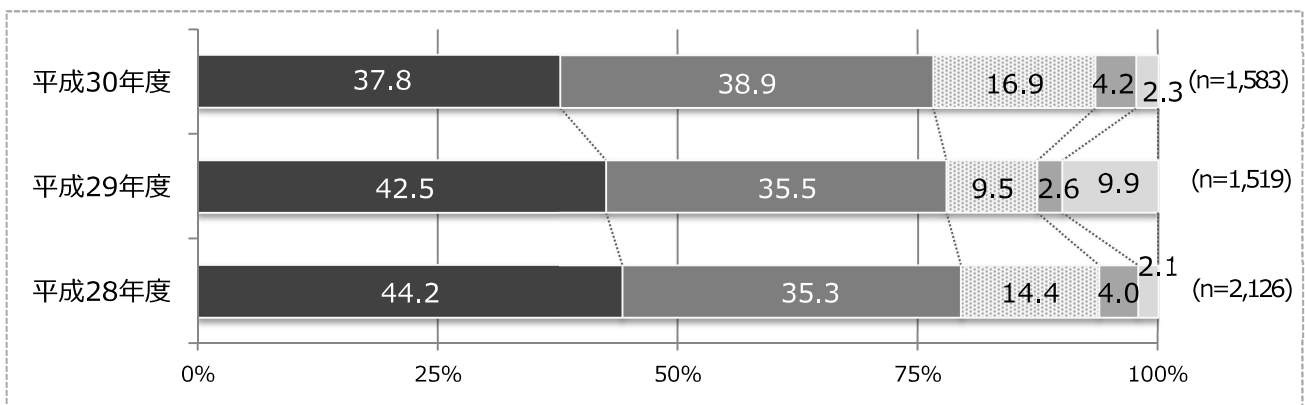
4 定住意向

設問 43 このまちに住み続けたいと思いますか。 n=1,583



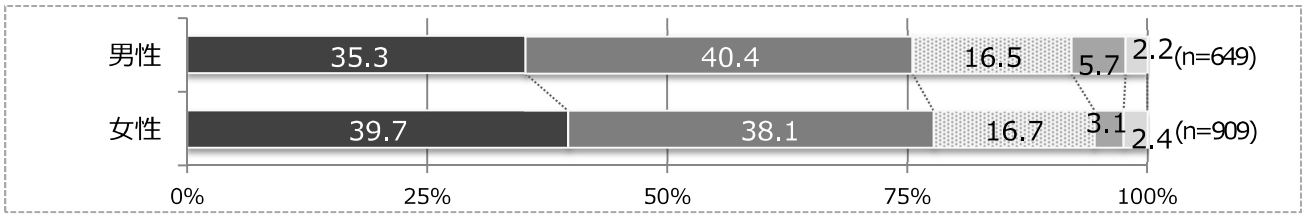
岐阜市への定住意向については、「住み続けたい」(37.8%)、「どちらかといえば住み続けたい」(38.9%)と回答した割合の合計が 76.7%となった。一方で「住み続けたくない」(2.3%)、「どちらかといえば住み続けたくない」(4.2%)と回答した割合の合計は 6.5%となった。

平成 28 年度、平成 29 年度調査結果との比較



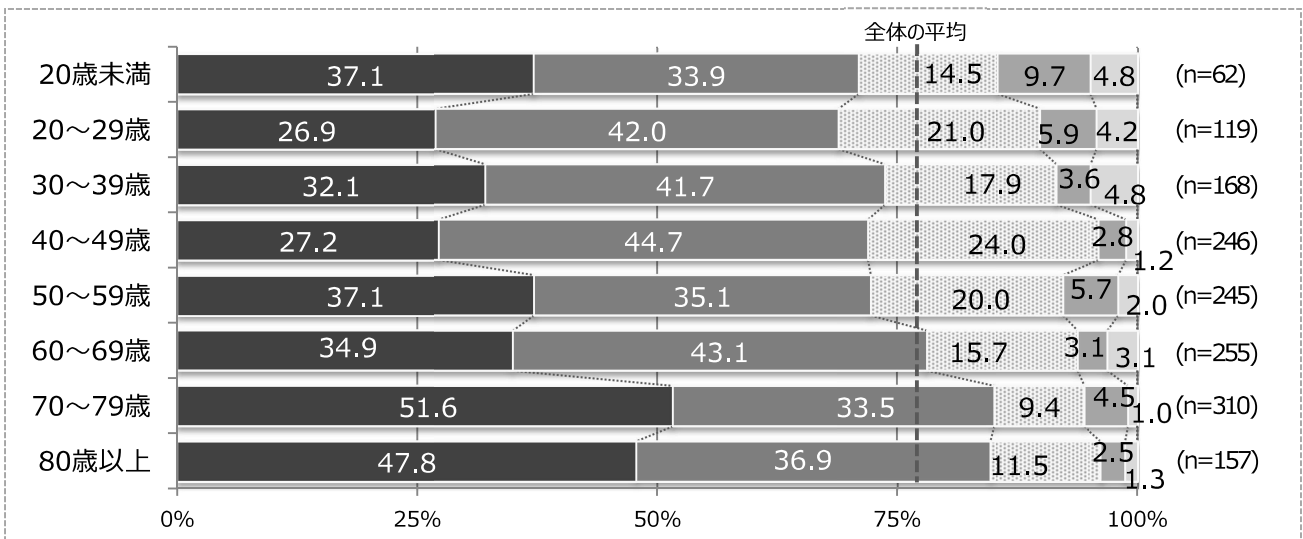
過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計は(76.7%)は、平成 28 年度(79.5%)、平成 29 年度(78.0%)より減少した。

男女別構成とのクロス集計 n=1,558



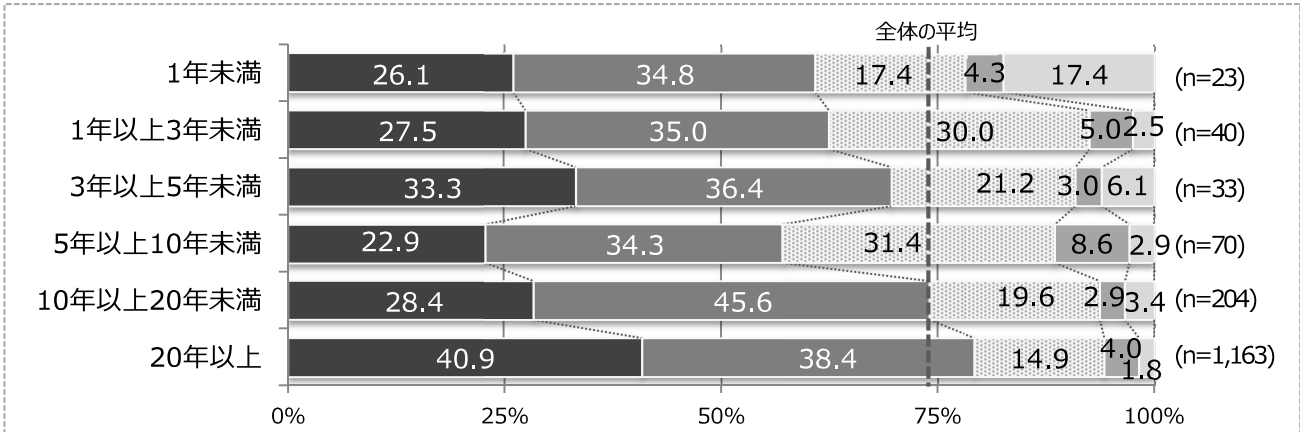
男女別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を比較すると、「女性」(77.8%)が「男性」(75.7%)を上回った。

年齢階層別構成とのクロス集計 n=1,562



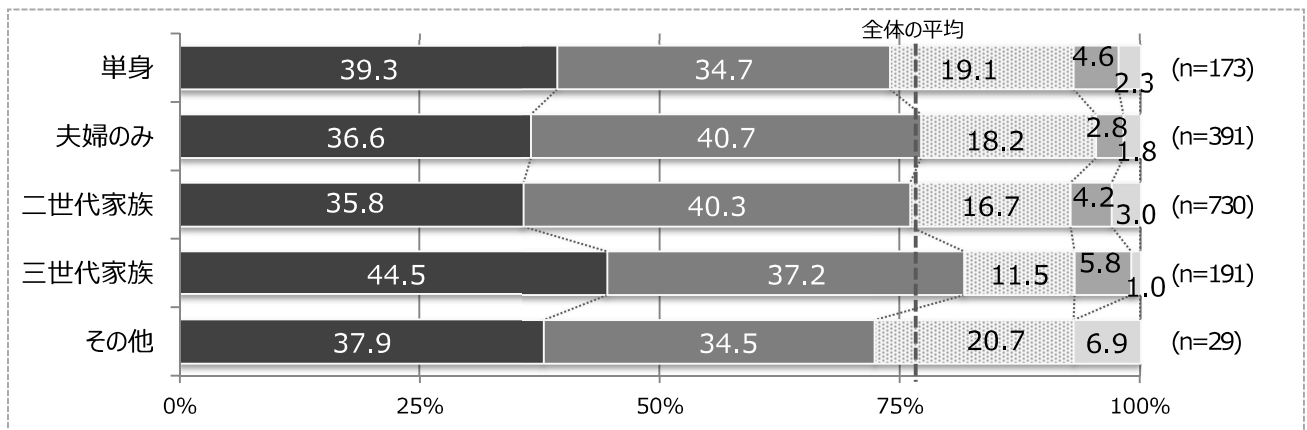
年齢階層別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「70～79歳」(85.1%)、「80歳以上」(84.7%)、「60～69歳」(78.0%)では平均を上回った。一方で「20～29歳」(68.9%)、「20歳未満」(71.0%)、「40～49歳」(71.9%)、「50～59歳」(72.2%)、「30～39歳」(73.8%)では平均を下回った。

居住年数別構成とのクロス集計 n=1,533



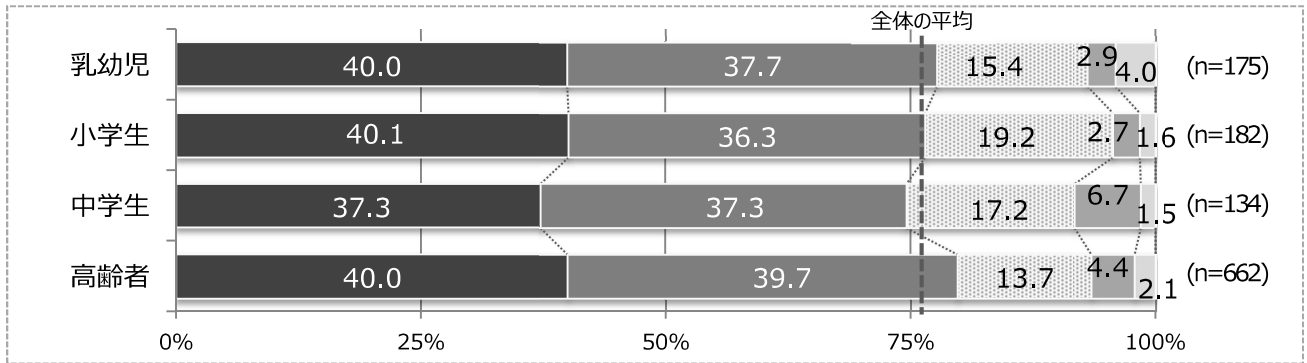
居住年数別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「20年以上」(79.3%)が平均を上回った。一方で「5年以上10年未満」(57.2%)、「1年未満」(60.9%)、「1年以上3年未満」(62.5%)では平均を大きく下回り、「3年以上5年未満」(69.7%)、「10年以上20年未満」(74.0%)でも平均を下回った。

家族構成とのクロス集計 n=1,514



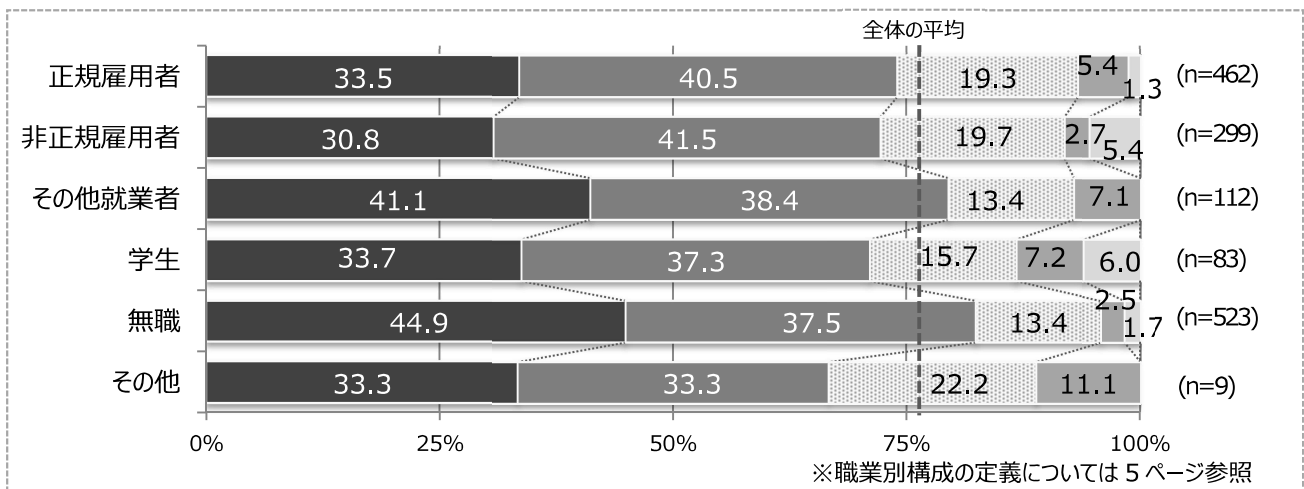
同居家族別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「三世世代家族」(81.7%)、「夫婦のみ」(77.3%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「単身」(74.0%)、「二世世代家族」(76.1%)では平均を下回る、または近似した値となった。

乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯とのクロス集計



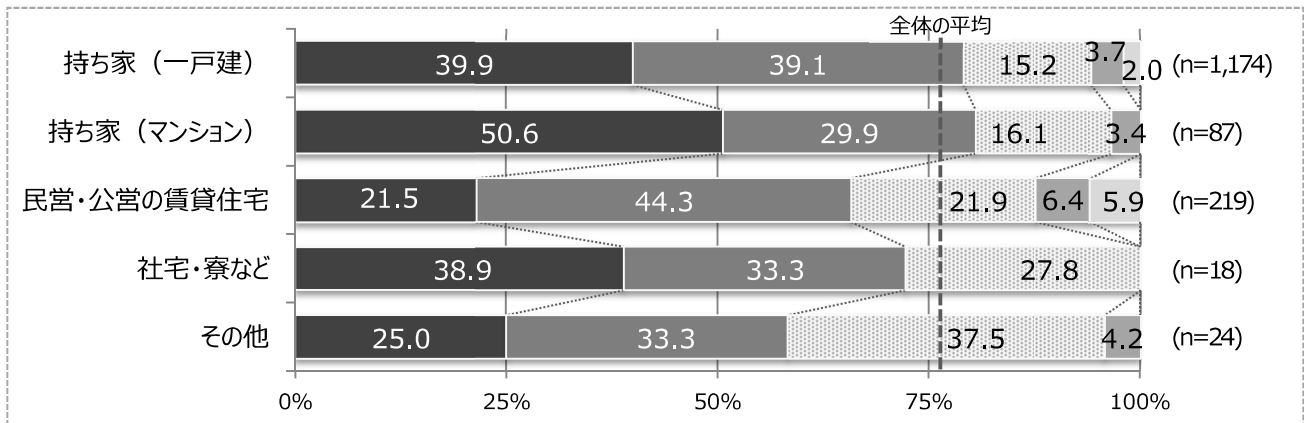
乳幼児、小学生、中学生、高齢者のいる世帯別に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「高齢者」のいる世帯(79.7%)、「乳幼児」のいる世帯(77.7%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「中学生」のいる世帯(74.6%)、「小学生」のいる世帯(76.4%)では平均を下回る、または近似した値となった。

職業別構成とのクロス集計 n=1,488



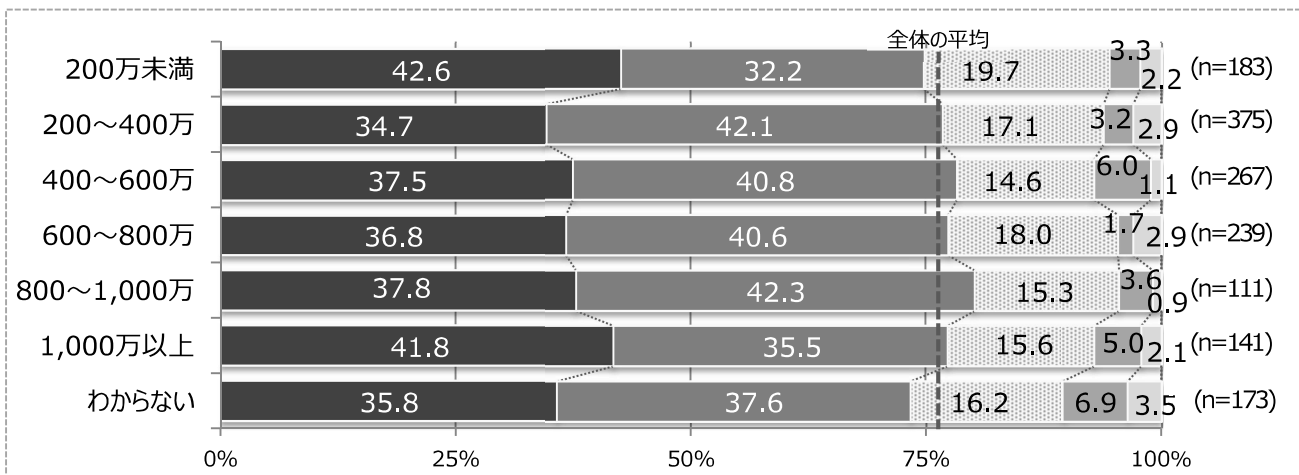
職業別(「その他」を除く)に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「無職」(82.4%)、「その他就業者」(79.5%)が平均を上回った。一方で「学生」(71.0%)、「非正規雇用者」(72.3%)、「正規雇用者」(74.0%)では平均を下回った。

住宅構成とのクロス集計 n=1,522



住宅別(「その他」を除く)に、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「持ち家(マンション)」(80.5%)、「持ち家(一戸建)」(79.0%)が平均を上回った。一方で「民営・公営の賃貸住宅」(65.8%)では平均を大きく下回り、「社宅・寮など」(72.2%)でも平均を下回った。

世帯収入別構成とのクロス集計 n=1,489



世帯収入別(「わからない」を除く)に「住みたい」、「どちらかといえば住みたいたくない」と回答した割合の合計を全体の平均(76.7%)と比較すると、「800万円以上~1,000万円未満」(80.1%)、「400万円以上~600万円未満」(78.3%)、「600万円以上~800万円未満」(77.4%)、「1,000万円以上」(77.3%)、「200万円以上~400万円未満」(76.8%)が平均を上回る、または近似した値となった。一方で「200万円未満」(74.8%)では平均を下回った。